

さかき



12月定例会

- ・ここが聞きたい!一般質問12名4ページ
- ・まちを支える..... 12ページ

温泉施設持続化負担金 2,740万円 図書館屋根塗装・防水工事 995万円を予算化

第4回定例会は12月5日から12月16日までの会期で開かれ、一般質問には12名が登壇した。条例の制定や一部改正、補正予算などの議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

条例制定 条例改正

◆坂城町情報公開条例の制定

「個人情報の保護に関する法律」が改正され、「坂城町情報公開及び個人情報保護に関する条例」を廃止することに伴い、当該条例で規定していた「情報公開」に関する部分について、個別の条例として制定する。

現在、条例で規定している情報公開に関する規定内容と同様に、町の実施機関の職員が職務上作成し、又は取得した文書等の公開請求に係る手続きや公開方法について規定する。

また、「非公開情報」として、法令等の規定により公開できない情報、個人に関する情報、民間の法人その他に関する情報などを規定する。

◆坂城町職員の定年等に関する条例の一部改正

「地方公務員法」が改正され、令和5年4月1日に施行されることに伴い、国家公務員と同様に地方公務員の定年年齢が延長されることから、定年の年齢を令和5年度から2年ごとに1歳ずつ引き上げ、段階的に65歳にするよう改める。

また、60歳に到達した管理監督職を非管理監督職に降任させる「管理監督職勤務上限年齢制」の導入、60歳に達した以降定年前に退職した職員について、本人の希望により短時間勤務の職に採用することができる「定年前再任用短時間勤務制」の導入に係る改正を行う。

令和4年度一般会計補正予算(主なもの)

◆第5号補正額(専決)	1億3,792万円
歳入	
○国庫支出金	7,756万円
○県支出金	1,640万円
○財政調整基金からの繰入金	4,396万円
歳出	
○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業	7,756万円
○生活困窮世帯緊急支援金給付事業	1,640万円
○子育て世帯物価高騰支援事業	2,250万円
○町内の福祉サービス事業所、医療機関、私立幼稚園に対する物価高騰支援助成金	275万円
○マイナンバーカード普及促進事業	1,871万円
◆第6号補正額	1億4,296万円
歳入	
○国庫支出金	1億8,462万円
○財政調整基金などからの繰入金	▲5,117万円
歳出	
○温泉施設持続化負担金	2,740万円
○後期高齢者医療療養給付費負担金	1,434万円
○荇屋原落石防止対策工事増額費用	660万円
○図書館屋根塗装・防水工事	995万円
○保健福祉等複合施設整備基金積立金	1,300万円
○公共施設等の光熱水費、燃料費増額費用	4,039万円

◆坂城町体育館条例の一部改正

坂城町体育館の耐震改修及び大規模改修工事により、照明設備のLED化及び空調設備の整備、ボルダリング設備の新設に伴い、使用料等の改正を行う。

一般会計補正予算(第6号)

問 温泉施設持続化負担金の内容は。

答 びんぐし湯さん館改修工事に伴い、施設の休館や利用制限などを行ったため、指定管理者の営業制限(収益機会の喪失)分について支援を行う。

また、燃料価格高騰の影響による光熱費増加分の支援を行う。

問 図書館屋根塗装・防水工事の内容は。

答 町立図書館の屋根及び雨どいの老朽化により、建物の一部に雨漏りが見つかつたため修繕を行う。屋根部分は錆の除去やひずみの修正、コーキングの再施工などを行ったうえで塗装を行う。雨どいは穴などを補修し、防水シートの取付を行う。

第4回定例会(12月)の審議結果

1 全会一致で可決された議案

(1) 契約

- ① 令和4年度坂城インター先線関連下水道管路移設工事変更請負契約の締結
- ② 令和4年度クレーン付きトラック売買契約の締結

(2) 条例等

- ① 上田地域広域連合規約の変更
- ② 東北信市町村交通災害共済事務組合理約の変更
- ③ 坂城町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定
- ④ 坂城町情報公開条例の制定
- ⑤ 坂城町情報公開及び個人情報保護審査会条例の制定
- ⑥ 坂城町職員の降給に関する条例の制定
- ⑦ 坂城町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定
- ⑧ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ⑨ 坂城町職員の定年等に関する条例の一部改正

- ⑩ 坂城町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ⑪ 坂城町議会議員及び坂城町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
- ⑫ 坂城町印鑑条例の一部改正
- ⑬ 坂城町地域経済牽引事業の促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正
- ⑭ 坂城町体育館条例の一部改正

(3) 令和4年度補正予算

- ① 一般会計(第6号)
- ② 介護保険特別会計(第2号)
- ③ 後期高齢者医療特別会計(第2号)

(4) 意見書

- ① 安全・安心の医療・介護実現のため、人員増と処遇改善を求める意見書

2 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		結果	(議員氏名)													
			山城峻一	柘津明子	大日向進也	玉川清史	栗田隆	朝倉国勝	滝沢幸映	吉川まゆみ	西沢悦子	塩野入猛	中嶋登	大森茂彦	小宮山定彦	
令和4年度補正予算(専決)	一般会計(第5号)	承認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議 長 職
請願	消費税「適格請求書(インボイス)方式」の中止を求める請願書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の見直し・延期を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
陳情	畜産経営を継続するための陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
意見書	インボイス制度の見直し、実施延期を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
	畜産経営を継続するための対策を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	

3 全会一致で否決された議案……なし

4 請願・陳情審査結果

	件名	提出者	付託常任委員会及び委員会審査結果	本会議における議決結果
請願	消費税「適格請求書(インボイス)方式」の中止を求める請願書	千曲民主商工会 会長 宮坂 富雄 紹介議員 玉川 清史 山城 峻一	総務産業 趣旨採択	趣旨採択
	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の見直し・延期を求める請願書	長埴建設労働組合 組合長 瀧澤 信雄 紹介議員 玉川 清史 山城 峻一	総務産業 採 択	採 択
陳情	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	社会文教 採 択	採 択
	畜産経営を継続するための陳情	食糧と健康を守る更埴地域連絡会 代表者 吉澤 定安	総務産業 採 択	採 択

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

保育園

使用済み紙おむつ回収を

衛生面、財政面等を検討



吉川 まゆみ 議員

問 保育園での使用済み紙おむつの取り扱い。子ども支援室長

保育園敷地内の屋外の決められた場所に、園児ごとのビニール袋をセットし、ここに保育士がその園児の使用済み紙おむつを入れ、帰りのお迎えの際に保護者が持ち帰っている。

問 保育士や保護者の負担軽減と衛生面への配慮

として、使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、園で回収する方法にできないか。

子ども支援室長 3園で回収する場合、未満児約100名分、1日450枚程度が見込まれるため、保育園での保管場所の確保が必要である。そして、保管にあたっては、衛生面など慎重に対処する必要がある。

問 県内でも持ち帰り廃止の自治体が増えてきた。最近では、箕輪町、千曲市など新たに園での回収を決定した。当町も園での回収とした場合、その保

管と処分方法は。

子ども支援室長 衛生的に保管できる保管庫の用意が必要。処分方法は、燃えるごみとして処分するため、できるだけ早い収集が望ましいので、現在

の週2回の収集回数を増やすなどの方法がある。まずは、保育園での衛生面を考慮し、保育士への負担や財政面等も合わせて検討する必要がある。



毎日持ち帰る使用済み紙おむつの袋
(坂城保育園)

質問項目

吉川 まゆみ 議員 4ページ

- ① 子宮頸がんワクチンについて
- ② 使用済み紙おむつの取り扱いについて

西沢 悦子 議員 5ページ

- ① まちづくりについて
- ② 町奨学金について

塩野入 猛 議員 5ページ

- ① 18号バイパスの工事状況について
- ② 野生鳥獣等の被害対策について

滝沢 幸映 議員 6ページ

- ① 青少年の健全育成について
- ② 地域の環境問題について

中嶋 登 議員 6ページ

- ① 小・中学校給食費を無償に
- ② 子ども食堂について
- ③ ふるさと納税について

朝倉 国勝 議員 7ページ

- ① 次期町長選への出馬の考えは

栗田 隆 議員 7ページ

- ① ワクチン副反応及び後遺症について
- ② ゴミ収集について

柘津 明子 議員 8ページ

- ① 発達障害児への支援について
- ② 人口減少を食い止めるために

大森 茂彦 議員 8ページ

- ① 学校給食の無償化に向けて
- ② マイナンバーカード取得の在り方は
- ③ 保育内容の充実のために
- ④ 加齢による補聴器の助成制度の創設は
- ⑤ 酪農・畜産業に支援を

大日向 進也 議員 9ページ

- ① ワクチン接種と感染状況について
- ② 県道坂城インター先線進捗状況について

玉川 清史 議員 9ページ

- ① 生活環境の整備について
- ② 犯罪被害者支援について
- ③ 食の安全について

山城 峻一 議員 10ページ

- ① 信州型自然保育について
- ② とともに生きる障がい者福祉について



西沢 悦子 議員

完成の見込みは

令和8年度竣工の予定

複合施設

問 保健センターと老人福祉センターを統合した新たな複合施設の建設に向け、準備が始まった。実施計画では、本年度は建設準備委員会を開催、5年度は基本構想・基本計画の策定、6年度は測量・地質調査・基本



建設予定地（文化センター体育館東側）

設計・住民説明会となっている。施設を更新する大きな事業をどのように進めるか。

町長 町の将来像「輝く未来を奏でるまち」を体現する施設とし、あらゆる年齢層の人に親しまれ、それぞれの目的で利用できるようにと考えている。

問 建設予定地についての計画は。

福祉健康課長 現在の老人福祉センター周辺を想定している。

問 住民要望や意見を聴取するのはいつか。

福祉健康課長 現在、建設準備委員会で基本構想の策定を進めている。来年度予定の基本計画策定にあたり、建設委員会に移行。その中で要望や意見を聞いていきたい。

問 事業費の見込みと完成の予定は。

福祉健康課長 公共施設個別施設設計画の中で、本体工事を16億円としているが、計画を進める中で算定していきたい。また、建設工事は令和8年度中の竣工をめざし、取り組んでいきたい。

バイパス

供用開始への見通しは

時期など示されていない



塩野入 猛 議員

問 4年度の工事の進捗状況は。計画どおり進められているのか。また、工事も佳境に入り始めた中で、完成・供用開始に向けた見通しは。

町長 約8億円の事業費が配分され、設計調査と埋蔵文化財調査、用地買収、改良工事が予定され、順次事業が行われている。

建設課長 現時点で供用開始の時期など示されていない。事業の進捗を図るべく、関係機関への働きかけを行っていく。国道事務所、県、関係機関と

連携し、バイパスの整備促進に努める。

野生鳥獣等の被害対策

問 村上地域は、野生鳥獣侵入防止柵の設置が完了し、山沿いの田畑は効果があるが、里の平地や

河川敷の農作物に被害が出ている。被害調査を行って対策を講じてほしい。

駆除一辺倒では解決は見込めない。環境面や生態系などによる被害対策が肝心だが、考えは。

商工農林課長 猟友会とも相談し、被害対策について、捕獲、防除、環境整備を組み合わせた総合的な対策で効果を得られるよう、有害鳥獣対策協議会とも検討したい。



地盤改良工事をしている超大型機械（バイパス予定地）

部活動

地域移行への進捗状況は

千曲市と協働で進める



北信越中学校剣道大会出場の坂中剣道部
(令和4年8月5日 県立武道館：佐久市)



滝沢 幸映 議員

問 小中学校の課外活動、部活動の大会での活躍状況は。また、中学校休日の部活動地域移行の進捗状況は。

答 教育文化課長 南条小金管バンドが、東海バンドフェスティバルに毎年出場をしている。中学校部活動での主な活躍は、今年度、剣道部が北信越中学校剣道大会女子団体戦

及び個人戦に女子2名が出場をした。移行への進捗状況は4年7月、千曲市・坂城町各団体の代表で組織された「中学校部活動地域移行推進会議」において協働で進めることが決定。これを受けて8月に、「運営準備会」を設置し、今後の運営、規約、指導者の確保や報酬等検討している。

地域猫活動

問 この一年間の活動状況と、新たに計上された補助金25万円の内容は。

町長 3年12月、地域猫活動の推進に取り組みボランティア団体が発足し、地域と行政を加えた取り組みがスタートした。この一年、不妊化手術は127頭、13自治区に及び、大きな成果と捉えている。

住民環境課長 補助金の内容については、メスの不妊手術費用とオスの去勢手術費用で、3月までの30頭分を見込む。

学校給食

小中学校給食費を無償に

勉強させてもらいたい



中嶋 登 議員

改定していない。一律に給食費無償化ではなく、現行の支援策の中で必要な保護者に対し、給食費の負担軽減を行う。

町長 無償化について勉強させてもらいたい。

ふるさと納税について

問 私が提案してから、6年がたち、右肩上がりです。寄附額が増えてきたが、今後の見通しは。

町長 令和3年は2億5800万円であったが、4年11月末現在では1億1000万円程で、前年同期と比較し寄附額が5割程度となっている。今後の見通しについて、寄附額の目標設定は行わないが、寄附を通じて町を応援していただける方が一人でも増えるよう取り組んでいきたい。



学校給食費を無償化に

問 県内の自治体では学校給食費の無償化が進んでいる。現在はコロナ禍であるとともに、子どもたちを育てる親世代は給料も上がらず疲弊している。無償化することで保護者負担の軽減だけでなく、少子化対策や食育学習にもつながる。長和町、青木村など県内の21自治体が給食費の無償化を実施している。坂城町も速やかに学校給食費の無償化を行うべきであると考えますが町の考えは。

教育長 学校給食費は、平成26年度から今年度まで

町長選

次期出馬への考えは

議会最終日に話したい



朝倉 国勝 議員

問 3年間、コロナ禍が続くこの

は多大な影響を受けている。ここへ来て、日本ではようやくウイズコロナの状況が見られるが、ロシアのウクライナ侵攻が燃料価格の高騰を招き、エネルギー危機、諸物価の高騰や食料危機、円安の進行等深刻な状況を作り

出している。坂城町においてもこうした情勢に処していくため、町民や事業所などに対し、引き続き切れ目のない支援が必要である。

こうした中、次期町政を担う人は、国内外の政治経済を取り巻く環境や坂城町の産業、教育、福祉、行政運営等を十分理解し、課題解決に尽力できる人でなくてはならない。

多くの町民が山村町長に4期目の出馬を強く望んでいる。次期町長選出馬への考えは。

町長 これからの4年間は長期総合計画や総合戦略の実現に向け、新しいまちづくりを進める大変重要な時期と認識しており、4期目の出馬は大変重い意思決定であると考えている。支持者や皆さんの意見を聞き、相談するなかで、今議会の最終日に改めて話したい。



坂城町庁舎

後遺症に対する見解は

懸念はないとされている

ワクチン



栗田 隆 議員

町長 現在のところ予約方法についての変更は考えていない。

問 FDA（アメリカ食品医薬品局）の調査では乳幼児へのワクチンの発症予防効果は14・4%しかない。副反応リスクが高いため接種を禁止とした国もある。当町にも副反応と疑われる症状で苦しんでいる方が少なから

ずいる。10年後20年後にどうなるかの治験が一切ない現状では、若年層への接種は慎重であるべきと考えるが町の見解は。また、副反応が起こった場合の町のフォローアップは。

町長 副反応については、国によると、現時点で重大な懸念は認められないとされている。しかし極めてまれに健康被害が起ることがあり、国による救済制度が設けられている。健康被害が生じた場合には保健センターに相談してもらいたい。

問 厚生労働省の11月11日の発表では、コロナワクチン接種後（因果関係判定不能ではあるが）1908名が死亡している。欧米では接種の危険性に気付き接種を控える状況となっている。ワクチン接種については、いったん立ち止まって考えるべき時と考える。町としては接種の体制を整えるのは当然であるが、接種受付方法の見直しは考えているか。



ワクチン接種会場

定住施策

住宅地の確保を

優良な住宅地を確保



赤津 明子 議員

問 日間人口及び夜間人口は。町長 最新の令和2年国

勢調査の結果によると、日間人口は1万5029人。夜間人口は1万404人。

住・定住する目的で、町内でマイホームを新築する方などに対する移住定住促進補助金、30年度から、結婚に伴う住宅の取得やリフォーム、引っ越し費用等支援する結婚新生活支援事業を実施するなど、新たな事業展開を図っている。

問 住宅地の確保と荒廃化した農地の土地整理を進め、宅地や事業用地を増やしたらどうか。

町長 町の国土利用計画では、人口減少などによる、低・未利用地や空き家などの増加を課題として捉え、土地の有効利用を促進し、低・未利用地と空き家などを含む既存住宅ストックなどの有効利用を図り、住宅地、産業用地の確保を図るとしている。今後、幹線道路の整備が進み、交通環境も大きく変化していく中で、町土の有効活用を優先し優良な住宅地の確保を図る。



学校給食

給食費の無償化を

保護者負担を基本に



大森 茂彦 議員

問 食育は、学校教育の一環である。憲法には「義務教育は無償とする」としている。完全無償化を求める。教育文化課長 町では保護者負担が基本だ。食材も高騰しているが、負担増のないよう献立や食材で工夫。困窮家庭の子に

は就学援助で対応している。
問 御代田町では、子育て支援や移住・定住事業も実施しながら、給食費の無償化で人口増である。財政力指数が県内町村で3位の当町が、できないことはない。
町長 先に質問した議員には、「負担が少なくなるよう色々検討しよう、段階的にかもしれない」と答えた。今の立場で責任ある答えは言えないが、そのあかつきには議論したい。

保育士の配置基準見直し
問 人格形成に大事な時期に、言葉の発語を促し、しっかりと受け止め、子どもに声掛けが必要。現在、1・2歳児を担当する保育士1人で園児6人をみている。3人にできないか。
子ども支援室長 基本的には、園児6人に対し1人で対応。年度当初は、補助の保育士を配置している。

1月のこんだてひょう

日	月	祝祭日	給食メニュー	献立	備考
1	1	元日	お粥	お粥	
2	1	月曜日	カレーライス	カレーライス	
3	1	火曜日	うどん	うどん	
4	1	水曜日	そば	そば	
5	1	木曜日	ラーメン	ラーメン	
6	1	金曜日	餃子	餃子	
7	1	土曜日	お餅	お餅	
8	1	日曜日	お粥	お粥	
9	1	月曜日	カレーライス	カレーライス	
10	1	火曜日	うどん	うどん	
11	1	水曜日	そば	そば	
12	1	木曜日	ラーメン	ラーメン	
13	1	金曜日	餃子	餃子	
14	1	土曜日	お餅	お餅	
15	1	日曜日	お粥	お粥	
16	1	月曜日	カレーライス	カレーライス	
17	1	火曜日	うどん	うどん	
18	1	水曜日	そば	そば	
19	1	木曜日	ラーメン	ラーメン	
20	1	金曜日	餃子	餃子	
21	1	土曜日	お餅	お餅	
22	1	日曜日	お粥	お粥	
23	1	月曜日	カレーライス	カレーライス	
24	1	火曜日	うどん	うどん	
25	1	水曜日	そば	そば	
26	1	木曜日	ラーメン	ラーメン	
27	1	金曜日	餃子	餃子	
28	1	土曜日	お餅	お餅	
29	1	日曜日	お粥	お粥	
30	1	月曜日	カレーライス	カレーライス	
31	1	火曜日	うどん	うどん	

栄養価を考えた献立

インター線

先線開通の見通しは

令和5年度中に開通



大日向 進也 議員

問 インター線先線の終了点部と町道の交差点部は、どのようになるか。

建設課長 将来の右折車線を考慮し、国道18号交差点と同規模の全幅17mで暫定的なT字路交差点として整備を進めている。接続する町道について、



インター線先線の終了点部（中之条）

て、工業団地側（南側）は、既存の町道と同様に2車線で片側2mの歩道を設け全幅12m、延長80mの整備を行う。また、中之条側（北側）にも2車線で全幅7m、延長120mの付替道路の整備を行っている。

問 開通の見通しは。
建設課長 令和5年度中を目指す。

問 インター線先線延伸区間の現状と計画は。
建設課長 現在事業施工中のインター線先線の終了点部から、千曲川を渡って

国道18号バイパスに接続する網掛地区延伸区間として、3年度から千曲川の橋梁予備設計を行っている。

また、4年度は、計画延長約900m、全幅14mとなる道路基本計画を策定した。新たな延伸区間の基本計画の概要として、中之条地区の千曲川堤防まで延長約280m、千曲川を渡る橋梁部分は延長約440m、網掛地区の堤防から国道18号バイパスの接続部までの延長約180mとなる。



玉川 清史 議員

問 新しい遺伝子技術で作られたゲノム編集食品が市場に出始めている。国は自然界でも起きる変異だとして、遺伝子組換え食品に義務付けている安全性の証明やゲノム編集食品であることの表示も不要としている。

しかし一方で、新しい技術のため安全性の心配を指摘する研究者もいる。また、消費者からは安全性の不安と表示がないため、食品選択ができないとの声がある。学校給食の食材としての町の考えは。

給食食材

ゲノム編集食品の使用は

心配な間は使わない

教育文化課長 ゲノム編集食品の安全性などを慎重に判断する必要がある。心配な間は使用しず定はない。また、遺伝子組換え食品も給食には使っていない。

未管理の空き地への対応

問 管理されていない私有地の雑草を草刈りした人がいる際に、町が間に入って地主や管理者と草刈りの希望者をつなぐことは出来ないか。

住民環境課長 条例では所有者等の空き地の適正管理を定めている。

希望者が所有者に代わって草刈りできるように、所有者に希望者の連絡先を伝えたこともあ。町に相談をしてほしい。



食育・学校給食センター

自然保育

認定制度活用の考えは

引き続き研究していく



山城 峻一 議員

問 町内保育園の自然に関わる保育の現状は。

答 子ども支援室長 園外保育では、和公園やばら公園、びんぐしの里公園の展望台に出かけ、落ち葉や花に触れたり、虫を採ったりする活動を行っている。普段は、お散歩に出かけ道端の草や花、川の流れなどの日常的な風景を毎日見ること、天気や季節による小さな変化を体験し、子どもの豊かな感性を育てている。

問 長野県は信州型自然保育「信州やまほいく」認定制度を進めている。

この制度を導入するメリットは、①子どもの体力や自己肯定感の向上が期待できる②認定を受けることで県主催の研修会への参加が可能③認定園を個別に紹介するサイトを開設しており、全国に



県のパンフレット

広報できることである。坂城町もこの認定制度を活用していく考えは。子ども支援室長 登録にあたっては、外部の研修への参加や対外的に事例発表を行った保育士がいることなどの要件がある。登録後は毎月の計画書の作成や、活動報告書の提出が必要となる。引き続き、保育士への負担を考慮する中で研究していきたい。

議 会 日 誌 (主なもの)

- 10月**
- 3日 町表彰選考委員会
 - 4日 千曲坂城消防組合議会定例会
 - 5日 総務産業常任委員会
 - 6日 町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」検証委員会
 - 7・13日 議会報編集委員会
 - 11日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会中央要望
 - 19～20日 社会文教常任委員会（閉会中の調査）
 - 21日 千曲衛生施設組合議会定例会
 - 22日 町表彰式
 - 24日 議会全員協議会
 - 25日 町例月現金出納検査/上田地域広域連合議会定例会
 - 26日 葛尾組合議会定例会
 - 27日 上田地域広域連合議会定例会
 - 27～28日 千曲坂城消防組合議会行政視察

- 11月**
- 1～2日 千曲衛生施設組合先進地視察研修
 - 4日 六ヶ郷用水組合議会定例会

- 11月**
- 7日 町土地開発公社視察研修
 - 8～9日 葛尾組合議会視察研修
 - 10日 町戦没者追悼式
 - 10～11日 六ヶ郷用水組合議会研修視察
 - 14～15日 総務産業常任委員会（閉会中の調査）
 - 18日 町温泉施設改修工事竣工式
 - 21日 議会全員協議会/実施計画策定懇話会/町介護保険運営協議会
 - 24日 長野広域連合議会定例会
 - 25日 町例月現金出納検査
 - 28日 議会運営委員会
 - 30日 定期事務監査報告

- 12月**
- 5～16日 12月議会定例会
 - 5・20・27日 議会報編集委員会
 - 15日（公財）さかきテクノセンター運営委員会
 - 20日 町国民健康保険運営協議会
 - 26日 町例月現金出納検査

表紙



第52回元旦マラソン大会が、1月1日(日)に行われました。おだやかなお正月を迎え3年ぶりの開催です。昨年は雪のため、一昨年は新型コロナウイルス感染症の蔓延のため中止でした。今回は、コロナ対策として参加人数を限定しての開催となりましたが、今年一年の健康を願って100名を超えるランナーが参加されました。親子ペアの部、小学生の部、一般の部に分かれ、町長・町議長の号砲により、ランナーたちは大勢の声援を受けるなか、元気いっぱい駆け出しました。写真は、今年の飛躍を願い参加した、ドッジボールチームの皆さんです。
(写真 小宮山定彦、文 大森 茂彦)

循環型社会に向けて

総務産業常任委員会



昭和電工(株)

総務産業常任委員会は11月14日(月)・15日(火)に京浜地区の視察を行った。14日は川崎市の昭和電工(株)を訪問し、プラスチックケミカルリサイクル事業について説明を受けた。

ここでは、家庭や企業等から排出される使用済みプラスチック(資源ゴミ)を提携先の自治体等から受け入れ、それを原料としてアンモニア、炭酸製品を製造し、販売を行っている。この工場で作られた従来品と同等のアンモニアは、主に火力発電で発生する大気汚染物質の脱硝用、合成繊維

や樹脂の原料、肥料用に利用されている。

化石燃料の消費を抑え、製造工程で発生する二酸化炭素等の副産物を再資源化できる製造方法を取り入れ、従来の製法に比べ、環境負荷を大幅に低減している。

私達の家庭から出る資源ゴミの有効活用の意義を改めて確認できた。

15日は藤沢市の藤沢サステイナブルスマートタウンを視察した。

ここは松下電器の工場跡地で、先進的な取組を進めるパートナー企業と藤沢市の官民一体の共同プロジェクトとして、千世帯もの家族の営みが続く、リアルなスマートタウンである。

技術先行のインフラ起点ではなく、住民一人一人の暮らし起点の街づくりを実現する新しい発想のスマートタウンであった。

(朝倉 国勝)

多世代共生の複合施設

社会文教常任委員会



とやまこどもプラザ

社会文教常任委員会は10月19日(水)・20日(木)に、複合型施設について学ぶため、富山県富山市「とやまこどもプラザ」と石川県白山市「社会福祉法人佛子園 B.s行善寺」を訪問した。

坂城町では、老人福祉センターと保健センターを統合した新たな複合施設の整備を計画している。どの様な形が望ましいかという視点で、利用者の生活スタイルを踏まえた施設の視察研修を行った。

「とやまこどもプラザ」では、子ども図書館と子育て支援センターがワンフロアで一体となっており、また飲食店が併設されていることで様々な年代の人が利用しやすい施設となっている。

行善寺は、もともと障がい者施設としても運営されていたが、現在は「社会福祉法人佛子園 B.s行善寺」として未就園児から高齢者まで多世代が広く様々なサービスを受けられ、地域住民の就労にも一役買う施設となっている。

地方創生を実現するため、全国各地でのような取り組みを展開しており、多世代共生を実現すべく「ごちゃまぜ」を合言葉に活動を行っていることを説明を受けた。

今回の視察を終え、様々なサービスが集約された施設の利便性と重要性を強く感じる事ができた。新しいものを取り入れ進化する姿勢を持ち続けたいと思う。

(大日向進也)

まちを支える

～『音』で情報を届けます～

音訳ボランティア「おとわの会」

音訳ボランティア「おとわの会」は、視覚障害者の情報・知識等を知る権利のサポートを目的に、平成19年10月に会を立ち上げ、15年になります。発足のきっかけは、点字クラブの中から「点字はなかなか読めないね」という声が上がったことからです。

近年、視覚障害者の約80%が、生まれつきの目の障害よりも、事故や病気で視力を失う中途失明の方です。現在、毎月広報さかき、隔月で社協だより、町議会開催月の議会だより、また年3回発行の公民館報を音訳し、CDでお届けしています。各々のホームページからも聴くこと

ができます。必要に応じて時刻表や対面朗読も行っていません。この度、私達の活動が認められ、長野県社会福祉協議会からボランティア団体功労表彰を受けることができました。



年間計画の利用者さんとの交流会や勉強会は、コロナ禍でできませんが、毎月の収録は休まず続けています。メンバーの減少は悩みの種です。一緒に音訳をしてくださる方を募集しています。音訳の趣旨をご理解いただき、ぜひ一度見学に来てくださいます。

代表 柳沢ロコ子

つれづれに

◆本年4月に統一地方選挙があり、首長および議員が改選となるため、今回の議会だよりが、現メンバーでの最終編集となりました。

親しみやすい議会だよりの作成をめざし、多くの町民の方に本誌を手にとり見てもらえるように考え、町議会をわかりやすく伝えられるよう工夫を行ってまいりました。

また、坂城町の時節ごとの魅力を伝えるため、町内のあちらこちらへ写真撮影に向かいました。

町民の皆様にも企画記事の投稿にご協力いただき、ご意見・感想の声が増えました。より良い議会だよりが出来たことに感謝申し上げます。

◆卯年の本年が当町において「災い」を大きく跳び越える一年となることを願います。(大日向進也)

発行責任者 議長 小宮山定彦
議会報編集委員会

委員長 大森 茂彦
副委員長 山城 峻一
委員 吉川まゆみ
林津 明子
大日向進也